

Hm助成支援団体のご紹介

佐伯文化芸能振興会

代表 ゆうの きみよ 勇野 公代さん

佐伯区を中心に、イベント催事への出演やプロデュースを行う目的で平成25年4月に結成されたのが「佐伯文化芸能振興会」です。「もともとは、平成16年に五日市商工会などと一緒に地域振興を目的に、10人ほどで結成した「輝榮希榮列車」が母体となっています。佐伯区のさまざまな行事に出演する中で活動が広がってきたので、名称変更し改めてスタートしました」と代表の勇野公代さん。



▲広島市立藤の木小学校での紙芝居の指導の様子(平成30年6月)

紙芝居を通して、地域の身近な問題解決に取り組む

「紙芝居夢舞台」は古くから佐伯区に伝わる伝説や昔話を紙芝居にし、それを上演する活動です。次世代を担う子どもたちに、日本伝統の紙芝居文化を継承、故郷への愛着やほこりを育み、強い絆のまちづくりを目指しています。さらに、その中でも力を入れているのが「地域課題かいけつ紙芝居プロジェクト」です。「最近、高齢者をターゲットにした、なりすまし詐欺が大きな社会問題になっています。そのなりすまし詐欺に対する注意喚起のためのオリジナル紙芝居を制作し、高齢者に直接呼びかけていま

す。紙芝居は、セリフを覚える必要がなく、人の生の声で伝えるため印象に残るので、聞き手、読み手双方に手軽に受け入れてもらうことが可能です。同時に、地域に密着した読み手を育成する講座を開講することで、その地域が抱えている問題について理解を深めてもらう狙いもあります」と勇野さん。

イベントや祭りへの参加、介護施設への訪問など年間30回以上積極的に活動しており、紙芝居は、オリジナル作品を含む15タイトルの中から、目的に応じて作品を選んで上演しています。また、五日市公民館で「佐伯区紙芝居まつり」を立ち上げ、毎年、佐伯区内にあるおよそ10団体の紙芝居グループを誘いイベントを実施しています。来年は指導した広島市立藤の木小学校の児童が初めて出演する予定です。

今後は佐伯区の中・高校生と一緒に平成11年に発生した6.29豪雨災害を題材にした紙芝居作りにも挑戦し、地域の歴史などを後世に伝えていかなければいけないと考えているそうです。日本の伝統ある文化を活用し、地域の問題に取り組む勇野さんたちの活動に、大きな可能性を感じました。



▲防犯紙芝居読み手育成講座(平成30年9月)

あとぴっこ親子の会「みんなで」

代表 からすやま なな 烏山 奈々さん

平成26年10月、アトピー性皮膚炎の子どもを持つ保護者が、同じ悩みを持つ人と情報を共有し、交流できる場として『あとぴっこ親子の会「みんなで」』は設立しました。

「私の息子も産まれた直後からアトピー性皮膚炎を患い、副作用のない治療方法を調べ悩んでいました。そんな中、アトピーの子どもを持つ保護者の交流会「きらきらぼし」を知り、集まりに参加したところ、色々な悩みを相談でき、希望を持つことができました。ひとりでは乗り越えられないことも、同じ悩みを持った仲間、皆でなら乗り越えられると感じ、広島でも定期的にアトピーの親子が交流できる場を作りたいと思いました」。代表を務める烏山奈々さんは、経緯について話してくれました。

同じ悩みを抱える保護者と子どもたちのために

烏山さんは、通院していた病院で同じアトピーの子どもを持つ保護者に呼び掛け、50人余りで会を発足させました。佐伯区にある会員のマンションの共有スペースで、定期的に未就園児の親子の集いを開催。季節のイベントや講座も取り入れ、情報交換の場



▲情報交換の茶話会の様子

を持ちました。

平成30年春からは、活動拠点を中区江波に移し、情報交換の場である茶話会を毎月1回開いているほか、2ヵ月に1度は、会員たちが集まって親子で楽しめるバーベキューや季節に応じた野外活動を楽しむイベントも実施しています。

平成30年10月には、アトピー性皮膚炎の治療に対する知識、地域への理解を広めていく活動のひとつとして、北海道で開催されていた「アトピーフォーラム」を初めて広島で開催。大人約100人、乳幼児約60人が参加し、皮膚科、小児科、保健師の専門家を招いて、一般の人にもアトピー性皮膚炎についての理解を深める機会を作っています。

「乳幼児のアトピー性皮膚炎に対して、正しい理解が地域に広がっていけば、悩みを抱える保護者も安心して生活することができます。またアトピー性皮膚炎が治らない病気だと思っている人の希望になると同時に、患者同士の新たな繋がりにもなるはずです。他の人の目を気にしすぎる余り、外に出ることに抵抗を感じる人も多いのですが、今後は、もっと外で自然に触れる場を作っていければと思います」。烏山さんは、今後の夢を語ってくれました。



▲野外活動で流しそうめんを楽しむ様子

みんなの寺子屋

代表 こばやし みょうえ 小林 妙慧さん

<https://www.facebook.com/minnnano.trerakoya.nam/>

平成25年7月に、障害の有無を超えて、互いに育ち合える子育て支援スペースの提供などを目的に設立したのが「みんなの寺子屋」です。

「もともと、保育士の仕事をしていた私は、自らの知識と経験を活かせる子育て支援スペースを作りたい、そんな夢を抱いていました。平成5年に縁あってボランティア活動で初めてインドへ渡航。その後何度か訪れた後、平成7年にボランティア団体「ナマステ〜INDIA」を作り、国際交流や平和文化活動に取り組んでいました。その後、平成25年広島仏教学院に入学し、僧侶になる勉強に励む中で「みんなの寺子屋」をはじめました」と話す代表の小林妙慧さん。

周囲の理解と協力の下、当初はお寺の一角を借りて活動をスタート。月2回、土曜日の午後集まった子どもたちに、リサイクル工作・手話歌(リズム遊び)・集団ゲームを中心に遊びを企画、実施し、大学生ボランティアと一緒に活動しています。

日本の伝統的な行事や遊びを通して、互いに育ち合い、国際交流にも繋がる

「さまざまな活動の中でも、今、力を入れているのが、昔ながらの遊びです。核家族化も進み、子育ての協力者が少なくなった今、子どもの発達のつまずきに悩んでいる親世代に子育てのピン



▲お寺の一角を借りて子どもの遊びをする様子

トを提供し、障害の有無を超えて、互いに育ち合える子育て支援スペースを提供できたいと考えています」。平成30年からは、東区のゲストハウス「ラッピー」を会場に、毎月1回、鏡割り、節分、ひな祭りなどの日本の伝統的な季節行事を英語で楽しみ、交流できるイベントを開催しています。国境はもちろん、世代を超えて交流が図れる場となっています。

「国際交流が盛んになっている今、グローバルな視点を持った人材を育てることは社会の大きな課題だと感じています。学生ボランティアを育成することが、学生自身の学びとなって、子育て経験の蓄積に繋がり、彼ら自身の将来の子育てにも役立つと考えています。もっと多くの人に、私たちの活動を知ってもらいたいと思っています」と小林さんは願いを語ってくれました。今後も子育て支援をきっかけに、多文化共生、人材育成、相互理解への広がりに期待します。



▲大学生ボランティアと一緒に

公益信託広島市
まちづくり活動支援基金
ひと・まち広島
未来づくりファンド
ふむふむ²
Hm²

(公財)広島市文化財団では、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動を支援し、市民、企業、行政の協働によるまちづくりを推進するための仕組みづくりとして、公益信託による基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」を設けています。

この基金は、心豊かでいきいきとした市民社会づくりを目指すため、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動に対する助成事業を行っており、助成先は、学識経験者などで構成する運営委員会が公開審査し、決定します。

これまでの助成団体や助成額等については、(公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部のホームページでご覧いただけます。

また、基金では多くの皆様からの寄付をお願いしています。

HP <http://www.cf.city.hiroshima.jp/hitomachi/>

寄付のお願い

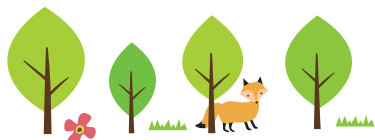
ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)は、市民・企業・行政等が力を合わせて、市民のまちづくり活動を長期にわたり支えていくために設けられた基金です。私たちの住む広島のまちをよりよくしていくために、できるだけ多くの皆さまからの寄付をお願いします。

振込先 広島銀行広島市役所支店／別段預金 No.3000017

口座名義 公益信託広島市まちづくり活動支援基金寄付金受入口
専用の振込用紙をご使用いただければ、手数料はかかりません(ただし、広島銀行の窓口からの振込に限りです)。広島銀行の振込用紙を使用、または他の金融機関からの振込の場合、手数料は自己負担となります。
※この公益信託への寄付に対して税の減免はございません。
※頂戴したご寄付は、毎月末日締めにて集計し、翌月の5日(休日の場合は翌営業日)に基金へ寄付させていただきます。



基金の愛称「Hm²(ふむふむ)」とは…【ひと(Hito) まち(Machi) 広島(Hiroshima) 未来づくり(Miraizukuri) ファンド】の略で、頭文字(HMHM)をとって「ふむふむ」と読みます。【ひと】と【まち】をつなぎ、【広島】の【未来】を創造するファンドで、みんなが「ふむふむ」と納得しながら共感が広がっていくまちづくりをイメージしています。



情報の森



生涯学習

シティカレッジ

大学などが持つ優れた研究・教育機能を市民生活に活かすことを目的に、学習機会を提供します。

会場 合人社ウェンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）

申込方法 (1)電話またはファクスにより①希望講座名または大学名②氏名（ふりがな）③住所④連絡先(電話番号、ファクス番号)をご連絡ください。先着順により定員になり次第締め切ります。※全回参加が前提です。※郵送(はがき等)による受付は行っていません。(2)受付時間：月～金(祝日を除く)午前8時半から午後5時15分まで。(来所の場合は午前9時半から)。土・日・祝日は閉所しています。

(3)申込開始日まではお受けできませんので、下記の表をご確認ください。

申込・問合せ (公財) 広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課事業係 〒730-0036 中区袋町6番36号 ☎082-541-5335 ☎082-541-5611

[シティカレッジ]

近畿大学工学部	講座名	「ファンタジーと言葉」についてのエッセイを英語で読もう：Ursula K. Le Guin, The Wave in the Mind から
	日時	平成31年1/26、2/2、2/9 土曜(全3回) 13:30～17:00
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 40人
	受講料	無料
	申込開始日	12月3日

イベント

第12回L&Bフェスタ

「笑顔満祭」をテーマに掲げ、みなさまに笑顔になっていただけるよう、美味しいコーヒーやフードをご用意してお待ちいたしております。

広島製菓専門学校による「製菓・製

パン祭」も同日開催！是非お越しください。

日時 平成31年2月2日(土)、3日(日) 午前10時～午後4時

場所 広島 Law&Business 専門学校2号館（広島市中区加古町2番20号）広島市文化交流会館前

入場 無料

問合せ 広島 Law&Business 専門学校 ☎082-247-3700



▲カフェの様子

第12回一年一善チャリティイベント [2019年初笑顔]

「笑う顔には福来る、笑って明日からも頑張ろう」をテーマに、人と人、自然と人、芸能と人とのふれあいで素敵な笑顔になれるイベントをたくさん用意して、みなさまのお越しをお待ちしています！

内容 お笑い国際便チャリティ寄席、自然に優しい・環境を考えるパネル展（環境活動団体の紹介）、ソーラン節（広島インディゴブルベンズ）、琉球創作エイサー（龍和）、車いすバスケットボールチーム「広島 Green」（選手とのサイン会）など。

車いすや盲導犬同伴での来場大歓迎です(ただし、ペットはご遠慮ください。).

日時 平成31年1月27日(日) 午後1時～4時半

場所 佐東公民館（安佐南区緑井6丁目29番25号）

※車でのご来場はご遠慮ください。

入場 無料

問合せ NPO 法人安芸七軒茶屋広島が好きじゃけん組

☎082-870-7777（石橋）



▲チャリティ寄席

ひがし区出会い・ふれあいフェスティバル

東区で活動する文化団体の多彩なステージや楽しいイベントが盛りだくさんです。ぜひご来場ください。

日時 平成31年2月23日(土)～24日(日)

※作品展、遺跡展は2月16日(土)から先行開催します。

午前10時～午後6時(最終日は午後4時まで)

場所 東区民文化センター（東区東蟹屋町10番31号）

内容 舞台発表（音楽やダンスなど総勢60団体が発表）、作品展（絵画、写真、手芸、陶芸など）、遺跡展（東区を中心とした広島市内の遺跡写真等展示）、イベント（バザー、体験コーナー、紙芝居上演、本の交換市など）※1日のみのイベントもあります。

問合せ (公財) 広島市文化財団東区民文化センター（☎082-264-5551）、二葉公民館（☎082-262-4430）



▲舞台発表（オカリナの演奏）の様子

主催 (公財) 広島市文化財団（東区民文化センター・文化財課・東区図書館・東区内公民館）、広島市東区役所

青少年センターからのお知らせ

①**ヤングフェスタ2019主役は君だ！～ユニバーチャルスタジオ・SEISYO～**
毎年盛大に開催される広島市青少年センター全館挙げてのいわば青年のための文化祭。今年はサブテーマに「映画」を掲げて祭りを盛り上げます。あなたもヒーロー・ヒロインになった気分に参加しに来てください!!

ダンス、演劇、音楽、各種パフォーマンスショー、など、小・中・高校生、大学生から社会人まで、本気で魅せます!けん玉大会(中学生まで)、遊びのコーナーや、体験コーナーも充実!バザーコーナーで心もお腹も満たしてください。「わかもの映画祭」も同時開催しています。

日時 平成31年3月9日(土) 午前11時～午後6時、10日(日) 午前10時～午後3時半

場所 広島市青少年センター及びハノーバー庭園（広島市中区基町）

入場 無料。※ただし、各ブースで材料費等の実費負担が必要なものもあります。

共催 ヤングフェスタ2019実行委員会

問合せ 下記共通問合せ先へ



▲ヤングフェスタ2018の様子

②広島わかもの映画祭

事前に募集した「若者たちが制作した映画」、「若者たちをテーマにした映画」をヤングフェスタ2019で上映し、「あの映画を制作した監督」によるコンペティションを開催します。

日時 平成31年3月10日(日)

場所 広島市青少年センター

入場 無料

共催 ヤングフェスタ2019実行委員会
③**ひととは違う?と不安に思っているあなたに。～発達障害ってなんだろう?～**

これまで生きにくさを感じてきた人、育てにくさを感じていた人に向けた講演と交流会を行います。

対象	自分は周りとは違うのではないかと不安を感じている15歳(中学生はのぞく)から35歳までの本人向け
日時	(1)12月15日(土) (2)平成31年1月20日(日) いずれも午後2時～3時 ※各回とも同じ内容です。
対象	子育てに不安を感じている35歳までの方
日時	(1)11月28日(水) (2)平成31年1月10日(木) (3)平成31年2月17日(日) (1)及び(3)午前10時～11時 (2)午後7時～8時 ※各回とも同じ内容です。

内容 発達障害と認定されなかった「グレーゾーン」の子どもを育てた母親の講演と交流会

定員 各回20人

参加費 無料

場所 広島市青少年センター

申込 各回の3日前までに、広島市青少年センターへ電話か窓口で。

※①～③共通項目

問合せ 広島市青少年センター 中区基町5番61号

☎082-228-0447 ☎082-228-7074

募集

「第31回市民文芸」作品募集

市民の皆さんの創意あふれる文芸作品を募集します。

入賞・入選作品は、2019年12月出版予定の市民文芸作品集「文芸ひろしま」第31号に掲載します。

ふるってご応募ください。

募集期間 2018年11月1日(木)～2019年2月28日(木)

※当日消印有効(Eメールについては、3月1日(金)午前0時締切)

応募資格 広島市内に在住または通勤、通学している人、広島市内で文芸活動を行っている人

応募部門

[一般の部(年齢不問)]

①短歌②俳句③川柳④詩⑤小説・シナリオ⑥エッセイ・ノンフィクション⑦児童文学

[ジュニアの部(小・中学生)]

⑧詩⑨俳句

※小学生低学年(1～3年生)、高学年(4～6年生)、中学生の別に募集します。

応募規定 応募作品は日本語による自作かつ未発表の作品に限ります。①～③及び⑨…各部門1人2首(句)まで(はがき等の用紙1枚に連記)。

④～⑧…400字詰め原稿用紙A4判(パソコン原稿の場合はページを20字×20行に設定)に、④5枚、⑤50枚、⑥30枚、⑦20枚、⑧3枚以内

応募方法 応募部門、題名(④～⑧のみ)、氏名(ペンネームの場合は本名も)、氏名のふりがな、年齢、性別、郵便番号、住所、連絡先(電話番号、Eメールアドレス)、学校名・学年(⑧～⑨のみ)、広島市外在住者は、通勤・通学・文芸活動先のいずれかの名称と所在地を明記してください。

※④～⑧は作品1部に上記の内容を明記した別紙1部を添付してください。

※応募作品はお返ししません。

※入賞・入選作品の出版権は主催者に帰属します。

※詳細は下記ホームページをご覧ください。

賞 ①～④[入賞]1席/1万円、2席/5千円、3席/3千円[入選]佳作/賞金なし

⑤～⑦[入賞]1席/5万円、2席/2万5千円、3席/1万5千円

⑧⑨[入賞]1席/図書カード3千円分、2席/同2千円分、3席/同千円分[入選]佳作/賞品なし

発表 2019年7月頃

表彰式 2019年7月27日(土)(入賞者対象)

作品送付先及び問合せ

(公財) 広島市文化財団 文化事業部事業課「市民文芸作品募集」係 〒730-0812 広島市中区加古町4番17号 JMS アステールプラザ内

☎082-244-0750 ☎082-245-0246

※受付時間は月～金（祝日、12/29～1/3を除く）の午前9時から午後5時まで

MAIL bunka@cf.city.hiroshima.jp
URL http://www.cf.city.hiroshima.jp/bunka/



▲第30号

助成

（公財）広島市文化財団 平成31年度（2019年度） 上期文化活動助成事業

市民の皆さんの自主的な文化活動の促進を図るため、団体または個人の文化活動の成果を発表する事業に要する経費の一部を助成します。

対象団体 ①文化活動の場が主として広島市内にあること②個人、または団体の構成員及び、出演者・出品者の5割以上が広島市内に居住または通勤・通学していること③団体の所在地、または連絡先が広島市内にあること④目的、組織、代表者等団体の運営に必要な事項についての定めがあること⑤国、地方公共団体および企業等が資本金、基本金その他これらに準ずるものを出資した法人でないこと⑥非営利団体であること（講師が受講料を募り受講料・会費を徴収する教室等は助成対象外）

対象となる事業 音楽、美術、演劇、民俗芸能などの文化活動を行っている団体または個人が行う日ごろの活動の成果を発表する事業（出版物の発行は除く）で次に掲げる要件に該当するもの①事業が広島市内で開催され、広く市民に公開されること②非営利の事業であること③政治または宗教活動と関

わりのない事業であること

対象事業の実施期間 平成31年（2019年）4月1日～9月30日

助成金額 助成の対象となる経費の2分の1以内で1件の助成額が20万円以内
※詳細は下記ホームページをご覧ください。

応募方法 所定の申請書に必要事項をご記入のうえ、次のとおりお申込みください。

受付期間 12月1日（土）～28日（金）
※持参の場合は月～金（祝日を除く）の午前9時～午後5時まで受付。郵送の場合は当日消印有効。

申込・問合せ 公益財団法人広島市文化財団 事業課
〒730-0812 広島市中区加古町4番17号
☎082-244-0750 ☎082-245-0246
URL http://www.cf.city.hiroshima.jp/bunka/

（公財）マツダ財団第35回市民活動支援募集

マツダ財団では、次代を担う青少年が、いろんなことに興味を持ち、多くの感動を得ることのできる生活体験の機会の提供や、地域社会づくりのための諸活動を支援しています。

対象となる活動 青少年の健全な育成のための、民間の非営利活動。特に子どもたちの参画度の高い活動、創意工夫を育てる活動、地域でのさまざまなささえあい活動、学校と地域が連携する活動、次世代のリーダーを育てる活動、災害復興支援活動等を期待します。（支援例）ボランティア育成、災害復興・災害対策に関する活動、地域連帯・コミュニティづくり、青少年の居場所づくり、自然とのふれあい、国際交流・協力、科学体験・ものづくりなど

募集地域 広島県、山口県

支援期間 2019年4月1日～2020年3月31日の1年間

支援金額 1件当たり10万円～50万円（総額800万円）

支援金の使い道 行事・催事費用、備

品費、出版費用、その他

応募方法 所定の申請書（MS ExcelとWord）をマツダ財団ホームページからダウンロードの上、必要事項を記入し、電子申請書を作成してください。下記申込み先まで、添付ファイルの形式でメールにて送信してください。
※詳細は下記ホームページをご覧ください。

受付期限 平成31年1月14日（月）
※マツダ財団事務局にメール必着

申込・問合せ 公益財団法人マツダ財団事務局
〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内

☎082-285-4611

MAIL mzaidan.sj@mazda.co.jp
URL http://mzaidan.mazda.co.jp/

プラザ主催事業のご案内

余暇活用相談会 楽し人（タノシビト）のための あそびCafe

毎月第3土曜日に気軽にお茶を飲みながら、相談員のみなさんに余暇を充実させるお話を聞いたり、余暇についての個別相談や「余暇診断シート」を使ったアドバイスを受けられます。

日 時 12月15日（土）、平成31年1月19日（土）、2月16日（土）、3月16日（土）

いずれも午後2時～3時半

※受付開始は午後1時半～

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）南棟1階ロビー

相談員 広島県余暇プランナー協会会員

まちかどコンサート ～マンドリンアンサンブル～

「アンサンブルチアロ」による、クリスマスコンサートを開催します。

マンドリンの優しい音色で奏でるクリスマス音楽をみなさまにプレゼントいたします。どうぞお楽しみください！

日 時 12月16日（日）午後4時～5時

申 込 不要（入場無料）

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）南棟1階ロビー



▲アンサンブルチアロのみなさん

各種パソコン講座

Access、LINEのスタンプ作成、パワーポイント（全3講座）

申込方法 往復はがき、ファクスまたはメール（m-plaza@cf.city.hiroshima.jp）で講座名・住所・氏名（ふりがな）・電話番号（ファクスでお申込みの方はファクス番号）を記入のうえ申込期間内に合人社ウエンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）へお申込みください。

※②③の講座は、託児があります。託児（1歳半以上の未就学児）を希望の場合は子どもの年齢をご記入ください。

定 員 各講座38人（申込多数の場合は抽選）

〔パソコン講座〕

講座名	①Accessデータベース入門講座
日 時	平成31年1/25、2/1、2/8、2/15、2/22、3/1、3/8、3/15 金曜（全8回）19:00～21:00
内 容	「Access」の基本操作概要・設定、Excel連携、実務で使えるシステム開発や活用方法の習得
対 象	Excelによる関数や表計算等の基本操作を理解し、実務作業ができる方
受講料	8,500円（テキスト代込み）
受付期間	12月1日～平成31年1月15日（必着）
講座名	②LINEのmyスタンプをつくらう
日 時	平成31年1/13、1/20、1/27 日曜（全3回）13:30～15:30
内 容	無料画像ソフトを用いたLINEスタンプの作成
対 象	文字入力・パソコンの基本操作ができる方
受講料	3,500円（テキスト代込み）
受付期間	11月15日～平成31年1月4日（必着）

講座名	③パワーポイントを始めてみよう
日 時	平成31年3/3、3/10、3/17、3/24 日曜（全4回）13:30～15:30
内 容	フォトアルバムや動く年賀状などの作成、日常生活での活用を目的とした基本的操作の学習
対 象	文字入力・パソコンの基本操作ができる方
受講料	4,500円（テキスト代込み）
受付期間	平成31年1月15日～2月22日（必着）

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）北棟6階マルチメディア実習室

パソコンサロン

初めてパソコンに触れる方や、基本的なパソコン操作に自信のない方を対象に、パソコンを無料開放します。会場にはICTボランティアがいますので、わからないことがあれば気軽にどうぞねください。

日 時 12月2日、9日、16日、23日／平成31年2月3日、10日、17日、24日

午後1時半～4時半

申 込 不要（無料）

※パソコンの開放台数は20台
※パソコンの持込みはご遠慮ください。

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）北棟6階マルチメディア実習室

広島市ピースアートプログラム アート・ルネッサンス2019

アートの持つ力で真の社会の豊かさ・幸せを生み出す活動を広く社会に投げかけていくことを目的に開催する作品展「アート・ルネッサンス」。

障がいのある人が自由に表現した作品を公募し、豊かさ・新鮮さ・しなやかさの3つの観点で審査・選考された入選作品を展示します。

期間中にはアーティストや審査員によるギャラリートークも（日程はプラザHPでご確認ください）。

多くの人々の協働に3年前からは広島市も加わり、今年で18回を迎えた本作品展へぜひご来場ください。

日 時 平成31年2月9日（土）～

17日（日）

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）北棟4階ギャラリー

入場料 無料



▲アート・ルネッサンス2018入選作品

メールマガジンのお知らせ

プラザでは、「ひろしま情報a-ネット」によるメールマガジンで最新の情報を発信しています。「ひろしま情報a-ネット」は、市民活動・生涯学習を支援する総合ポータルサイトです。

メールマガジンによる情報提供をご希望の方は下記URLよりご登録ください。

URL http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/



▲サイトの右柱にある**メールマガジン**をクリック⇒**まちづくり市民交流プラザメールマガジン**をクリックで登録画面に移動します。

「プラザ主催事業のご案内」に関する申込・お問合せは・・・

広島市まちづくり市民交流プラザ

〒730-0036 広島市中区袋町6番36号
（合人社ウエンディひと・まちプラザ）
☎082-545-3911 ☎082-545-3838

プラザ通信

第13回まちづくり市民交流フェスタ開催報告

平成30年10月13日(土)、14日(日)の両日、合人社ウェンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)とその周辺を会場に、市内を中心に活動する市民団体やまちづくりボランティア人材バンク登録者約50組との協働により「まちづくり市民交流フェスタ2018」を開催しました。心地よい秋晴れの中、2日間で延べ4,712人の方にご来場いただきました。

南棟1階の特設ステージでは、スーパーちんどんのにぎやかなお囃子と広島少年合唱隊の澄んだ歌声に始まり、音楽やダンス、伝統芸能やパフォーマンスを楽しみました。屋外では水餃子や無農薬野菜や雑貨の販売だけでなく、紙芝居の上演やステージ出演者によるフェスタのPRも。館内では、活動を紹介する展示のほか、さまざまな体験や工作、相談会、講座などを開催しました。ほかにも、プラザの施設・設備を活かした上映会や演奏会、パソコン体験会などの催しや、袋町小

学校の児童作品展、カフェやウォークラリーもあり、子どもから大人まで楽しめる2日間となりました。

また、今年も学生ボランティア団体が、広島経済大学、広島修道大学、エリザベト音楽大学、広島文教女子大学、比治山大学から参加。このほか、当日の運営ボランティアとしても多数の学生や市民の方の参加があり、世代や活動ジャンルを越えた交流の場となりました。

この「まちづくり市民交流フェスタ」は、広島市内近郊で市民活動や生涯学習などに取り組んでいる団体・グループの皆さまが、日頃の活動成果の発表や活動の紹介、情報発信などをとに行い、参加団体同士や来場される皆さんとの交流を深め、活動の輪を広げていくことを目的に開催しています。今年度の「まちづくり市民交流フェスタ」は終了しましたが、来年度4月以降、次のフェスタに向けて動き始めます。詳細が決まりましたらこの「らしっく」誌上でもお伝えしますので、ぜひご覧ください。



▲屋外バザーの様子



▲工作・体験コーナーの様子



▲実行委員会の様子



▲ステージ発表の様子



▲講座・講演会の様子



▲展示コーナーの様子

募集しています!

「らしっく『情報の森』」に載せてほしい!という、イベントなどの記事を募集しています。次号は、「平成31年3月下旬発行予定」です。平成31年4月以降の情報をお待ちしています。下記、発行者までお送りください。[平成31年1月末日必着]

合人社ウェンディひと・まちプラザ(広島市まちづくり市民交流プラザ)

- 開館時間
午前9時30分～午後10時
 - 休館日
毎月第3月曜日、12月29日～1月3日
 - 交通アクセス
市内電車:「袋町」電停から徒歩約3分
バス:「袋町」バス停(広島電鉄・広島バス)から徒歩約3分
アストラムライン:「本通駅」から徒歩約6分
 - ホームページ
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/>
 - ひろしま情報a-ネット
<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>
 - E-mail
m-plaza@cf.city.hiroshima.jp
- 〒730-0036 広島市中区袋町6-36
TEL: 082 (545) 3911 (代表)
TEL: 082 (545) 3913 (施設予約受付専用)
FAX: 082 (545) 3838

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。ただし、車いす使用者等にご利用いただく駐車場は3台分用意しています。

※自転車・バイクの方は、地下の公共駐輪場(有料)をご利用ください。

